

沙羅双樹 （さらかんじゆ） 小説家。明治二十八年五月八日埼玉縣生れ。昭和五十八年一月二十日歿（一九五一年）。本名大野熾。別名田中平六。日本大學中退。官吏の傍ら小説を書く。昭和十一年第一回千葉縣雄賞を受賞した他、度々苗木賞候補にゐる。二十年退職後作家生活。

著書『若き武者』（昭和十八年）二月十日又松堂）、『東歌』（昭和十八年）二月十日又春陽堂書店）、（二代）『藤田小四郎』（昭和十九年一月十五日京文社書店）、『和銅開花』

（昭和十九年八月）二十五日京文社書店、

私學社創設事務所）、『兜町』（昭和二十一年一月十日新樹書房）、『春色』

五人女』（昭和二十二年二月）十日新樹書房）、『時雨の濤』（昭和二十七年二月十日同光社後部書房）、『兜町の狼』（昭和二十一年七月七日）

白森脇文庫）、『風雲青葉城』（昭和二十一年二月十日東方社）、『月影恋影』（昭和二十二年九月）十日桃源社）、『旗本小次郎』（昭和二十二年）二月十日又芸社）、『勝者の記録』（昭和二十七年十月十五日経済生活社）、『赤穂浪士』（昭和二十八年十一月）十日信成社）、『少女歴史小説全集』（『風雲・源義経』（昭和二十九年九月）十日信成社）、『少女歴史小説全集』（二十日信成社）

等。

等。

等。

